

ジャケットデザインについて

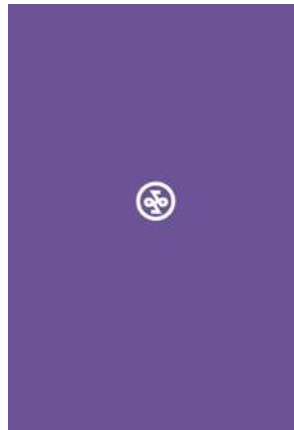
ジャケットデザインについては、令和元年度第1回港区史編さん委員会において議論し、通史編について、全面に区紋章のカラーを採用するシンプルなデザインにすることに決定しました。しかし、タイトルデザインや書体等について決定に至らなかったため、再検討し、以下のとおりとします。

決定に際しては、事務局案として各巻2案を5名の区民委員に提示し、色味や文字の大きさ等、ご意見を踏まえて修正を加えました。

『港区史』通史編、資料編	『港区史』自然編	『図説 港区の歴史』
<p data-bbox="132 640 252 674"><表面></p> <p data-bbox="480 640 515 674">A5</p> 	<p data-bbox="598 640 718 674"><表面></p> <p data-bbox="946 640 981 674">A4</p> 	<p data-bbox="1064 640 1184 674"><表面></p> <p data-bbox="1383 640 1418 674">A4</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回港区史編さん委員会での決定事項として、流行に左右されない「色（区紋章のカラーである江戸紫）」と「文字」のみで表現し、これまでの自治体史のイメージを覆すシンプルで斬新なデザインを採用することに決定しました。 ・字体や右に透かし文字として「港区史」を入れることで、スマートかつデザイン性の高いものに修正しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の木であるハナミズキは、明治23年(1890)に日本に初めて渡来してから、今年でちょうど130年になります。また、東京市からワシントン市に贈った桜のお返しのもとも知られ、国際交流の橋渡しをした木です。国際性豊かな港区にふさわしく、港区内の多くの公園や街路樹に植えられ、区民に広く親しまれていることから、自然編の表紙として採用しました。 ・右に透かし文字として「港区史」を入れ、通史編と統一感のあるデザインとしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図説は、区史通史編へいざなうものであり、幅広い世代が読めるよう、写真や図画等を多く取り入れ、港区の歴史を分かりやすく伝えるものというコンセプトのもと、ジャケットデザインも通史編との差別化を図り、浮世絵と現代の写真を並べて配置し、過去から現在までの歴史を体現しました。 ・浮世絵と写真については、「港区」の「港」を思わせる海の爽やかなデザインを採用しました。

<裏面（各巻共通）>

区紋章のカラーを採用し、
中央に区紋章を配置



【参考】ジャケットデザインの基本的な考え方

- (1) 親しみやすく手にとってもらえるデザイン
- (2) 港区史全巻を通して統一感のあるデザイン
- (3) 令和という新しい時代に、約40年ぶりに刊行される新たな区史として相応しいデザイン
- (4) 港区ならではのものを入れること。

<その他>表紙のデザインについて

表紙のデザインは、ジャケットデザインになぞって作成し、色は江戸紫を基調とします。

通史編 (A5)



自然編 (A4)



図説 (A4)

